

区自治協議会提案事業 事業評価書

南区自治協議会第3部会

区 分	内 容
テーマ・事業名	◆しろね大凧と歴史の館の展示替えに関する調査研究 【事業費予算 1,000千円】 ◆まちなか活性化事業
事業目的・概要	◆しろね大凧と歴史の館の展示替えに関する調査研究 ・白根大凧合戦が単に凧揚げではなく「凧合戦」であることを来館者にアピールし、誘客を図ることで凧の文化を広く啓発することを目的に、しろね大凧と歴史の館の展示替えに関する調査研究を行う。 ◆まちなか活性化事業 ・白根のまちなかを会場に南区の特産品や農産物の試食販売イベントとまち歩きをリンクさせ、地域の食や観光資源等の掘り起こしを行うことで魅力の再認識を促し、中心商店街の活性化を図る。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	◆しろね大凧と歴史の館の展示替えに関する調査研究 同館の展示替えを通じて広く凧の文化を啓発するため、以下のとおり調査研究を行った。白根大凧合戦の関係者をはじめ、学芸員を有する同館職員なども招へいし意見交換を重ねた。当該事業を次年度への継続事業とし、今年度の成果を展示替えに活かすこととした。 ■実施回数: 令和3年5月～令和4年2月 計8回 (9月・1月は新型コロナのため中止) ■会場: しろね大凧と歴史の館ほか ■参加者: 区自治協議会委員、南区観光協会、凧合戦協会、しろね大凧と歴史の館職員、南区産業振興課職員など ◆まちなか活性化事業 ○しろねの宝さがしとまち歩きの開催 新型コロナウイルスの影響により、感染拡大防止の見地から予定していた当該事業は中止せざるを得なかった。
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価、事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	自治協議会各部会でワークショップを実施し、各々が考える地域課題の抽出と問題意識の共有を図った。同協議会第3部会では観光の振興を最重要課題と位置付け、課題解決に向けて取り組んだ。 ◆しろね大凧と歴史の館の展示替えに関する調査研究 ・南区の特徴の一つで大切な伝統文化でもある「白根大凧合戦」に改めて着目し、特色ある区づくりに資するため調査研究を行った。様々な立場の関係者から意見聴取し、その思いや現状と課題について再認識することができ、改善策等について意見交換を重ねる機会を得ることができた。凧合戦会場の臨場感が得られるような工夫策や、視覚だけでなく聴覚等にも訴える演出など様々なアイデアが生まれた。 ・これらの事業成果を次年度に引き継ぎ、具現化できるアイデアから着手し、展示替えに取り組むこととした。 ◆まちなか活性化事業 ○しろねの宝さがしとまち歩き ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、中止を余儀なくされた当該事業を次年度に引き継ぎ、実施することとした。 ・まち歩きを通して南区白根の歴史を再認識してもらうとともに、南区産の果物や野菜、銘菓などを味わい南区を広くPRする事業を実施する。
備考	